

# にしわが 福祉だより

編集・発行：社会福祉法人 西和賀町社会福祉協議会

〒029-5614 西和賀町沢内字太田1-30

TEL 0197-85-3225 FAX 0197-85-3234

E-MAIL info@nishi-shakyo.net

HOMEPAGE <https://nishi-shakyo.net/>

福祉だよりは赤い羽根共同募金の配分金で発行しております。

No.80 2022.11.15



じぶんの町を  
良くするしくみ。

## 福祉まつりが開催されました

さる十月一日、二日両日、銀河ホールと悠々館を会場に、令和四年度西和賀町福祉まつりが開催されました。

福祉まつりは、子供もお年寄りも、福祉的ニーズのある人ない人もひとつの場に集い、共に語り共に交流を図りながらお互いの共感の輪を広げる事を目標としています。合わせてボランティアの主体的な参加を促し、住民参加福祉の町づくりを進めました。

一昨年、昨年は、コロナウイルスの蔓延により、福祉展示会として、作品展示や活動紹介を中心に行っていました。今年度は、感染対策を行い、開催に向け実行委員会で、取り組んでまいりました。

一日目は、作品や活動紹介の展示のみでしたが、二日目は、銀河ホールを主会場に、模擬店やステージ発表、成年後見の相談ブースも設置しました。実行委員をはじめ、湯田中学校、沢内中学校、西和賀高校の生徒の皆様もボランティアとして参加していただきました

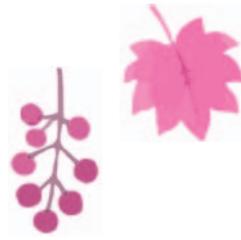
した。天気も良く、外で行った模擬店では、多くの人々が来場し、商工会女性部の唐揚げや、ざぜんそうの会の「ゆだ地饅」も飛ぶように売れ、午前中には完売していました。ステージ部門では、『山の音楽隊』や『百年座』、『湯田みかぐらこども隊』や『湯本鬼剣舞』が会場を盛り上げました。また、百年座の皆様には、急遽お願いして、模擬店会場でも太鼓を披露していただき、盛大にフィナーレをかざっていただきました。約五百名以上の来場があり、沢山の交流が生まれました。



実行委員長挨拶の様子



悠々館の展示の様子



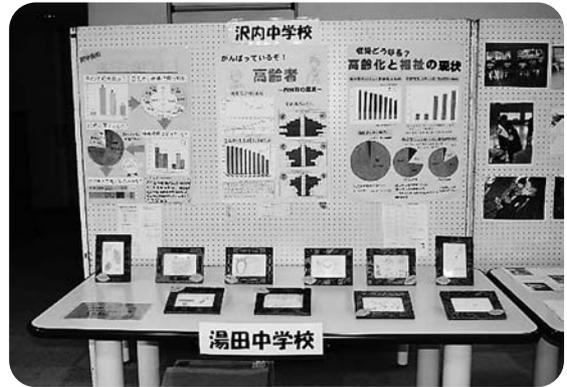
保育園「さんま定食」はじめました!



保育所 親子焼き物の作品



ヨーヨー釣



中学校の作品、研究発表



山の音楽隊の演奏



勇壮な湯本鬼剣舞



締めくくりの太鼓演奏



躍動感あふれる湯田みかぐら

今年も、地域歳末たすけあい運動が  
十二月二日から、スタートします

歳末たすけあい募金にご協力ください  
目標額は、一、四四〇、〇〇〇円です

『歳末たすけあい運動』は、共同募金運  
動の一環として、地域住民やボランティア、  
民生児童委員、社会福祉施設、社会福祉協  
議会等の関係機関・団体の協力のもと、地  
域の福祉ニーズを持つ世帯への支援として、  
地域で暮らす誰もが安心して年末の時期  
を過ごすことができるよう、住民の参加や  
理解を得て多様な福祉活動を展開するもの  
です。

歳末たすけあい募金運動は十二月一日か  
ら十二月三十一日まで行われます。趣旨を  
ご理解いただき、ご協力願います。

なお、昨年度は生活困窮世帯三十世帯四  
十五万円、在宅介護・障がい者世帯五十件  
三十万円、母子父子世帯十六件九万六千円、  
在宅介護者リフレッシュ事業五万円、障が  
い者施設に五万円、冬期除雪活動支援に五  
万円配分いたしました。

令和五年度福祉のまちづくり支援事業  
助成事業募集のご案内

「住み慣れたまちでいつまでも安心して  
暮らしたい」という私たちの願いを叶える  
ため、自ら課題を解決しようとする力や、  
関心、目的を地域で共有し、共に支え合う  
しくみが必要とされています。岩手県共同  
募金会では、皆様からいただいた募金を  
「じぶんの町を良くするしくみ。」として身  
近な地域福祉活動に活用いただくため、次  
のとおり助成事業を募集します。

**事業実施期間** 令和五年四月一日から令和  
六年三月三十一日まで

**助成団体** 地域の福祉向上を目的に活動す  
る県内のボランティア・NPO団体や町  
内会・自治会等任意の住民グループ

**助成金額** 二十万円以内

**申請期限** 令和四年十二月十五日（木）

**助成例** サロンで使う輪投げセット（単位  
老人クラブ）、グラウンドゴルフ用品（自  
治会）など

詳細については、社協本部（電話八五  
三二二五）までお問い合わせください。

第七十五回岩手県社会福祉大会

十月二十八日に岩手県民会館において岩  
手県社会福祉大会が開催されました。  
多年に渡り社会福祉の向上に尽力された  
方々が表彰されました。本町からの表彰者  
は次の方になります。

受賞おめでとうございます

**岩手県社会福祉大会会長表彰**

**【社会福祉事業功労者】**

社会福祉法人潤沢会 役員 湯沢 正氏  
前西和賀町老人クラブ連合会会長  
平澤 安保氏

**【永年勤続功労者】**

社会福祉法人光寿会 光寿苑職員  
氏家 洋也氏

**岩手県社会福祉大会会長褒章**

**【在宅介護者】**

西和賀町前郷地区 内記 清美氏



# 教育支援資金

教育支援資金は高等学校、大学、専門学校等への就学に際し、授業料など継続的な経費「教育支援費」と入学金等一時的にかかる経費「就学支度費」の2種類の貸付があります。

資金種類	貸付限度額	据置期間	償還期間	貸付利子
教育支援資金	教育支援費 高校 月35,000円以内 高専 月60,000円以内 短大 月60,000円以内 (専門学校含む) 大学 月65,000円以内	卒業後 6カ月以内	20年以内	無利子
	就学支度費			

- \*緊急小口資金・総合支援資金【特例貸付】は、令和4年9月末にて受付終了となりました。
- \*教育支援資金の貸付を希望される場合は、必要書類などの詳細をご説明しますので社会福祉協議会に、まずはお電話でご相談ください。

問合せ先：西和賀町社会福祉協議会本所 電話85-3225

## ハウスヘルパー 秋の統一活動

西和賀の冬を間近に感じる季節。ハウスヘルパーによる秋の統一活動が10月24日から11月12日まで行われました。

また、10月2日には、福祉まつりにおいて「包丁研ぎ」を行いました。包丁研ぎの収益については、福祉協議会に寄付されました。

## 評議員の選任について

令和四年九月十六日に行われた評議員選任解任委員会において次の方々の評議員に選任されました。任期は令和七年定時評議員会終結までです。

地域の代表者 湯田地区協議会長

高橋 悟氏

福祉関係者 町老連 代表

高橋 定信氏

ボラ代表 ボラ連絡協議会 代表

太田 宣承氏

## 介護職員募集

西和賀町社会福祉協議会では、介護職員を募集しています。資格がなくても、入社してから資格取得の支援も行ってまいります。介護の仕事に興味のある方、ぜひお待ちしております。詳細については、西和賀町社会福祉協議会本所（電話85-3225）までにご連絡ください。

随時募集しています





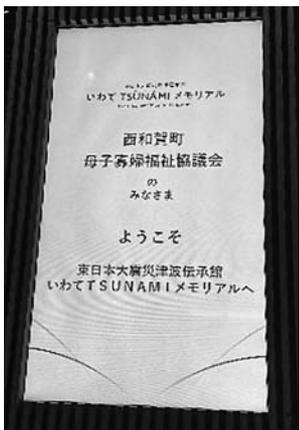
建物で人が亡くなっていないことが条件であることを学びました。防波堤の上にある献花台まで歩いて行き海を眺めるととてもキレイで

## 西和賀町母子寡婦福祉協会 視察研修会 in 陸前高田市

町母子協会は、十月六日(木)、陸前高田市へ視察研修に行ってきました。

東日本大震災津波伝承館では、ガイドさんに施設内や津波当時の様子等を説明していただきながら見学しました。陸前高田市では、震災遺構となっている建物は地域の景観を損なわないことや、その

「ここであの津波があったんだな。今見れば、あんまりキレイで、信じられねども」と、口々に話されていました。当日は天気も良く、久しぶりの町外研修だったこともあり、皆さんとても楽しまれていましたし、震災当時を振り返る良い機会となりました。



## 西和賀町老人クラブ連合会 体力測定会を開催

町老連は、十月二十一日(金)、湯田農業者トレーニングセンターで体力測定会を実施しました。

体力測定会は、文部科学省で制定した新体力テストに基づいておこなわれるもので、定期的に体力測定をおこない、その結果を自分の体力保持に役立てることを目的に実施されました。

今年は二十七名の会員が参加し、ライバルは隣の人：ではなく自分自身。昨年の自分と比べながら、今の自分を知る良い機会となりました。西和賀町生涯学習課と健康福祉課の皆さんにもご協力いただきながら、ケガもなく終了しました。



## 西和賀町身体障害者協会 視察研修会 in 秋田県小坂町

町身障協会は、十月十三日(木)、秋田県小坂町の康楽館と小坂鉾山事務所の見学に行ってきました。

明治の芝居小屋「康楽館」で常打芝居を観劇し、その後、施設見学もおこないました。【奈落】にある力棒を押し回してステージを回転させる装置【回り舞台】や、【切穴】と言われる役者をせり上げ見せ場をつくる装置などを説明してもらいながら見学でき、皆さん感動されていました。





# 災害ボランティアセンター 設置・運営に係る研修訓練

令和四年九月二十六日に北上市総合福祉センターにて「災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練」が開催されました。

西和賀町からはボランティア連絡協議会会長をはじめとした七名の参加となりました。

花北地域を中心とした災害による土砂崩れ及び浸水害により家屋等への被害が発生。北上市災害対策本部からの要請を受け、災害対策ボランティアセンターの開設を行ったという想定で実施されました。

全体ミーティングの後で設営の作業を行いました。実際に使うテントの組立や机、イスを運ぶだけでも大勢のボランティアが必要だと感じました。受付班やニーズ・マッチング班、資機材班に別れてシナリオに基づき実践訓練を行いました。ボランティア役の方が受付をして事前説

明を受け資材を持って被災地へ向かうところまでを行いました。

訓練の振り返りでは、受付窓口を増やしたことでスタッフが対応に混乱してしまったことや口頭で事前説明をすることが難しい場合はホワイトボードを活用し分かりやすく伝える工夫の必要性が挙げられました。

いざ実際に災害ボランティアセンターが立ち上がるとなった場合、地域住民と顔の見える関係性を持つことが必要と強く実感しました。県社協や応援社協との連携を持ちながらの対応は重要ですが、まずは社協を中心として西和賀町内の関係機関が手を合わせることで災害が発生した際に迅速な対応をとることが出来ると思っています。

引き続き災害に対する備えを行っていきます。



受付の様子



事前説明の様子



# 西和賀町 チャリティショー

2022年

12月4日(日)

銀河ホール

開場 12:30 開演 13:00

[チャリティ協力金]

大人 300円

小中高校生 100円

お問い合わせ

0197-85-3225

(西和賀町社会福祉協議会)



## 新型コロナウイルス感染症対策のお願い

座席の間隔を十分に確保し開催いたします。ご来場の際は、マスクの着用と入場口での検温・手指消毒をお願いいたします。当日、体調がすぐれない方はご来場をお控え下さい。

入場の際、お座りいただいた座席とご氏名ご連絡先を記載いただく用紙を配布いたします。

ご記入の上、終演後にご提出いただきますので予めご了承下さい。

**また感染予防のため換気を行います。寒さ対策は各自でお願いいたします。**

主催 西和賀町チャリティショー実行委員会